

平成24年度

福岡市文化賞・  
福岡市民文化活動功労賞

受賞者が決定

平成24年度の福岡市文化賞と福岡市民文化活動功労賞の受賞者が決定しました。各賞の概要と受賞者を紹介します。

■福岡市文化賞

福岡市文化賞は、芸術を中心とした本市の文化の向上発展に貢献し、特にその功績が顕著な個人・団体に贈られます。昭和51年の制定から、市は昨年までに136人、5団体を表彰しています。

回伝統文化ポララ賞で優秀賞を受賞。今年7月には、金沢21世紀美術館の「工芸未来派」展で作品が展示されるなど、近年最も注目される工芸家の一人です。

石瀧豊美さん(63)  
須恵町在住/郷土史



化を育てる活動を通じ、潤いのあるまちづくりに貢献し、特にその功績が顕著な個人、団体に贈られます。昨年までに23人、17団体が表彰されています。

谷口治達さん(80)  
西区在住/地域に根差した文化活動



◆  
中村信喬さん(55)  
中央区在住/美術(工芸)



独学で歴史研究の道に入り、長年にわたり福岡の歴史を研究してきました。平成15年には、イシタキ人権学研究所を開設し、部落史研究から福岡の人物史まで、さらに多岐にわたる活発な研究活動を行っています。

特に、平成22年に出版された『玄洋社・封印された実像』は、石瀧氏の玄洋社研究の集大成として高い評価を受けています。

■福岡市民文化活動功労賞

平成6年に市が制定した同賞は、本市の市民文

西日本新聞社で美術記者として活躍し、文化部長、論説委員などを歴任。退職後、九州造形短期大学教授を経て学長を務めました。多くの展覧会図録等に評文を寄せるとともに数々の展覧会を企画した他、福岡県文化団体連合会理事長を務めるなど、ジャーナリストとして研究者として幅広く福岡の芸術文化の発展に貢献してきました。現在、田川市美術館館長。

【問合せ先】

文化振興課 (☎711  
・4665 ㊟733・5  
537)

博多人形師である中村氏の作品は、一般の色使いが鮮やかな博多人形と違い、染料、顔料などを塗り込み研ぎ出し、また塗り込んで淡くぼかし込んだ色合いが特徴です。平成23年には、イタリアローマの博物館で作品を発表した他、同年、第31